

プレスリリース

2011年3月22日

## アジア・パルプ・アンド・ペーパー、日本の災害支援のため ハビタット・フォー・ヒューマニティー・ジャパンに義援金 1 億円を提供

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に、謹んでお見舞いを申し上げます。

東京、2011年3月22日 — アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（以下 APP）は、3月11日の東北地方太平洋沖地震、そして津波による被害を受けた地域の災害復興支援のため、義援金 1 億円と必要物資を提供する事と致しました。

義援金はハビタット・フォー・ヒューマニティー・ジャパンに送られ、初期段階での救援活動、そして長期的な被災地の復興支援をサポートします。

APP グループの会長であるテグー・ガンダ・ウィジャヤは次のように述べています。「長年にわたり、我が社にとって素晴らしいパートナー関係にあり友人でもある日本の方々をサポートすることが私たちの責務だと感じています。ハビタット・フォー・ヒューマニティーをはじめ、今回の被災者支援を日夜、そして今後数カ月にもわたって支援を行っていく団体や人々をサポートする事で、困難な状況に立ち向かう日本の方々を支援していきたいと考えています」

ハビタット・フォー・ヒューマニティー・ジャパン代表の山崎顕太郎氏は次のよう述べています。「APP からの申し出に大変感謝し、嬉しく思っています。世界が日本の東北地方で起きた災害を注視し、支援していることが伝わってきます。被災地域への交通が確保出来次第、ハビタット・フォー・ヒューマニティー・ジャパンは多くの地域ボランティアと共に救援活動や清掃といった活動に従事していく予定です。また、特定の地域の復興も支援していきます。今回の地震と津波に対するハビタットの活動は最大 2 年間にも及ぶ可能性があります」

義援金に加え、APP は地方自治体と協力して、被災地で必要とされる衛生関連物資を必要に応じて提供する用意もしています。これらの物資は現在、被災地で不足しており、人々の健康面、衛生面でも重要とされているものです。

APP では、インドネシアのジャワ島中部に位置するメラピ火山の噴火による災害支援をはじめ、ハビタット・フォー・ヒューマニティー・インドネシアによる複数の地域開発プログラムを支援しています。

++

APP ブランドの製品は、インドネシアおよび中国に生産拠点をもち、世界有数の紙パルプ工場で生産されています。エイピーピー・ジャパン株式会社は APP の日本における販売会社で、本社を東京に置き、従業員は約 160 名、全国主要都市に 4 つの営業拠点、北海道から九州まで全国 7 か所に在庫拠点を展開しています。

ハビタット・フォー・ヒューマニティー・ジャパン（以下、ハビタット・ジャパン）は、国際協力 NGO であるハビタット・フォー・ヒューマニティーの日本支部として、2001 年に開設されました。ハビタット・ジャパンでは大学生など学生のボランティアによる海外での住宅建築支援を主な活動としています。ハビタット・ジャパンでは 2010 年 1 月にハイチで発生した地震で被災地救援活動のための募金を行いました。

詳しくは [www.habitatjp.org](http://www.habitatjp.org) をご参照ください。

**本件に関するお問い合わせ先：**

エイピーピー・ジャパン株式会社

担当：長岡 徳明

Tel：03-5217-1101

Fax：03-5217-1257

Email：[n-nagaoka@appj.co.jp](mailto:n-nagaoka@appj.co.jp)